

【目標達成計画】

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|---|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 6 | 身体拘束、虐待は、絶対していないと職員一同認識しているし、勉強会も行なっているが、もっと深く掘り下げた専門的な行動指針が欲しい。 | 身体拘束、虐待を深く理解し、あらゆる面での起こりうる可能性を職員が理解することで、日々のケアの向上を図る。 | 施設外の研修会に努めて参加し、毎日のケアの中で、職員が意識を持って身体拘束、虐待に向き合う。 | 6ヶ月 |
| 2 | | ヒヤリ・ハット以前のインシデントを日報に書き、そのつど話し合いをしているが、一連の流れにしてケアにもっと継続性を持たせる。 | 細かい気付き(インシデント)が、活かされ、ご入所の方々の上質なケアにつながる。 | その時々気付いたことを、単発的に終わらせるのではなく、あらゆる可能性を想定し、事故や病気を未然に防ぐことを目標に、個別のチェック表などを利用する。 | 2ヶ月 |
| 3 | | | | | ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

※項目の欄は、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入するか、コピーしてページを増やして下さい。